

2年農業生産コースが 『農業機械の最新事情』を学びました！

1月26日（金）、科目「農業機械」の一環として、外部より講師を招聘して講話を開催し、生物資源科2年1組、農業生産コース20名が参加しました。

今回は、株式会社新潟クボタよりご協力いただき、妙高営業所の川上健弘様を派遣いただきました。川上様は本校の卒業生で、現在農業機械の現場で活躍されています。

お話は、「農業機械の最新事情」と題して、農機メーカーの取組、スマート農業、さらに川上様ご自身の農業実践についてお聞きました。本校の卒業生ということもあり、生徒は身近な先輩の取組や経験談に真剣に耳を傾けていました。

参加した生徒の感想には、「機械メーカーとして農機販売、修理だけでなく、米販売も海外まで広く展開していて凄い。」「スマート農業化に向けて、システム開発や機械の自動化が進んでいる。」「今後の農業機械の発展に期待したい。」「農業者の高齢化、担い手不足により、今後作業効率を上げ、無人化を進めていかないと地域農業は大変なことになる。」等の感想が聞かれました。とても充実した時間を過ごすことができました。

ご協力いただきました株式会社新潟クボタ様、川上様、ありがとうございました。



スマート農業についての説明



高校時代の話も



農業機械の最新事情を解説



KAWAKAMI FARM の実践紹介